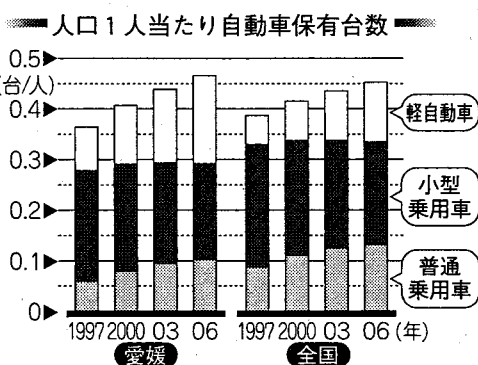


ガソリン高騰のため自家用車の運転を控える方が増えてきています。そこで愛媛県内に乗用車が何台登録されているか見てみましょう。なお、乗用車には一般利用という観点から軽自動車も含めることとします。

県内で登録されている台数は2006年末で68万9000台あり、内訳は普通乗用車15万2000台、小型乗用車28万台、軽自動車25万7000台です。10年前の1997年末が合計55万4000台でしたので25%の増加です。この間の人口は152万人から148万人



全国を上回る伸び

に減少していますので、台数の増加は自動車保有率(1人当たり自動車保有台数)の上昇によることが分かります(同期間:0.36台→0.47台)。

グラフは、愛媛県と全国の保有率を比較したものです。愛媛の特徴は、軽自動車の保有率が全国を上回って伸び、全体の保有率を押し上げてきた点にあります。軽自動車の増加は全国的な傾向ですが、愛媛県は全国平均を上回る動きを示しています。その結果、県内に登録されている乗用の車のうち約4割が軽自動車になっています。

軽自動車には小回りが利くという特性があるので、快適な街中走行など軽自動車に着眼した都市整備のあり方などについて議論していくことも有意義でしょう。(日本政策投資銀行松山事務所長・門松 功)

ピックアップえひめ

軽自動車保有率